

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2838

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|---------------|------|--|---|-----|------|---------|-------------------|-------------|
| B4 | 共助の取組マッチング事業 | | | 一般会計 | 総務費 | 県民費 | 県民活動推進費 | 共助による地域のきずなづくり推進費 | |
| 事業期間 | 平成26年度～平成28年度 | 根拠法令 | | | | 戦略項目 | 12 | 日本一の共助県づくり | |
| | | | | | | 分野施策 | 050301 | 支え合いで輝く豊かな地域社会の形成 | |
| <p>1 事業の概要</p> <p>地域や社会の課題解決を図ろうとするNPOや自治会へ、スキルやノウハウ、人生経験を活かして社会貢献したい専門家と、助成金や寄附、融資など活動資金をつなぎ、共助の取組を拡大・強化する。</p> <p>また、市民活動サポートセンター、県民活動総合センター等のネットワークを活用することで、共助の仕組みの拡大、強化に不可欠な市町村への支援を行う。</p> <p>(1) 「共助仕掛人」の設置 8,014千円 補助金が当初の見込みを下回ったことによる減</p> | | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 「共助仕掛人」の設置 6,156千円(当初14,170千円)</p> <p>(ア) 市民活動サポートセンター(3か所)、共助社会づくり課の計4か所に設置。</p> <p>(イ) 市に設置する「共助仕掛人」は、地域の専門家の発掘を行うと同時に、NPOや自治会とのつながりをつくり、地域の課題解決のマネジメントを行う。</p> <p>県に設置する「共助仕掛人」は、広域的な事業についてのマネジメントを行うほか、助成金活用のための助言や金融機関等と連携した資金導入の促進を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 「共助仕掛人」の設置 事業説明会の実施、設置箇所の募集・決定、「共助仕掛人」の募集・決定、「専門家」登録に関する広報の実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県に共助の窓口を設置し、潜在的な県民個々の力を共助の取組に誘導する。 ・地域の課題を解決する事業の支援を行い、共助の取組の安定化、拡大・強化する。 ・異なる強みをもった地域の主体を組み合わせ、課題解決に地域総ぐるみでチャレンジするための新たな仕組みを構築する。 <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県民の潜在的な力の掘り起し、県に配置する「共助仕掛人」はマンパワー事業で実施、県民活動総合センター、各市民活動サポートセンターと連携</p> <p>(5) 補正予算の概要 市町村への補助金が当初の見込みを下回ったことによる減額補正</p> | | | | | |
| <p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (県10/10)・市0 (県10/10)</p> <p>(2) (県10/10)・事業者0 (県10/10)</p> | | | | | | | | | |
| <p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p> | | | | | | | | | |
| <p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×1.0人=9,500千円</p> | | | | | | | | | |
| | | | | 財 源 内 訳 | | | | | |
| 予算額 | | | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | 8,014 | | | | | | | 8,014 | 6,156 |
| 現計額 | 14,170 | | | | | | | 14,170 | |